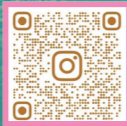


flamme (フラム) カード占い&ホディケア&アロマテラピーで、元気に幸せに生きるお手伝いしております。
TEL:090-7134-3308



牡羊座

自然の中に出かけよう♪ゆっくり落ち着いて目を閉じ深呼吸♪笑顔で呑気に楽に構えよう!

牡牛座

今あるラッキーを数えてみて☆バランスを取り戻そう。自分を大事に。成功を引き寄せる♪

双子座

すべてに愛を送る。変化する時。積極的にリフレッシュを心がけて。じっくり魂とつながる♡

蟹座

もう準備はバッチリ整いました。さあ今、動き出そう!物事が循環していく。支えられている。

獅子座

切り替えの時。手放し、生まれ変わる。自分を守って。ゆったり穏やかな状態を保つていこう☆

乙女座

自分への投資を惜しまず。成功の始まり。頭をスッキリ、今に集中して☆緑色を身に付けて♪

天秤座

休息をできるだけとって☆物事を整理し、いったんゼロに戻す。助けを受け取る事を自分に許す。

蠍座

目に入るメッセージに気付こう。ピンと感じる事を即実行!思いをどんどん言葉に出して♪

射手座

コミュニケーションは大切に、愛の心で。人の嫉妬は気にせず。平穏と落ち着きを保って☆

山羊座

魅力がアップする!自分に向き合う時間をもつ。秘めた情熱を表に出してみる。健康を最優先に☆

水瓶座

変容する時。ワンランク上へ!心を軽くリラックス☆豊かさを思いだし、楽しみを見つけて♪

魚座

本来の自分に戻る。デトックスでシンプルに!新しい素晴らしい人生が始まる。人と交流して☆

Present

プレゼント応募方法

(応募方法)
(1)お名前(2)ご住所(3)電話番号(4)年齢(5)ご希望のプレゼント(6)入手場所(7)一番おもしろかった記事、セカンドへのメッセージor今後の特集に関する情報等を明記の上、11月30日(木)必着でハガキ、メールにて応募ください。抽選後、当選された方には賞品及び、当選ハガキを発送致します。
〒830-0018 久留米市通町111-18 北島ビル404号
pe-pa-work セカンド編集部宛
info@new-second.com

- 1 グリーンランド入園券 ペア5組10名様 (提供) グリーンランド TEL.0968-66-1112
- 2 福岡県青少年科学館 常設展示・コスモニアター招待券 ペア5組10名様 (提供) 福岡県青少年科学館 TEL.0942-37-5566
- 3 T・ジョイ久留米 映画招待券 (特別興行は除く) 4名様 (提供) T・ジョイ久留米 TEL.0942-41-8250
- 4 筑水堂 お菓子の詰め合わせ (2,000円相当) 1名様 (提供) 筑水堂 TEL.0942-32-5531
- 5 大砲ラーメン 昔ラーメン カップ麺 1ケース (12個入り) (3,600円相当) 1名様 https://www.taiho.net
- 6 宮崎商店 季節のフルーツ盛り合わせ (3,000円相当) 1名様 (提供) 有限会社宮崎商店 TEL.0942-38-4345
- 7 風来坊 お持ち帰りパック (3,000円相当) 1名様 (提供) 風来坊 TEL.0942-33-0941
- 8 スポガ久留米 アイススケート スケート滑走券 (入場料・貸靴代込み) ペア2組4名様 (提供) スポガ久留米 アイススケート TEL.0942-34-7008
- 9 久留米市美術館 芥川龍之介と美の世界 二人の先達-夏目漱石、菅虎雄 ペア5組10名様 (提供) 久留米市美術館 TEL.0942-39-1131
- 10 ブラゼリス ニューヨーク BRADELIS New York ラクしてキレイ!! ノンワヤーブラ 2名様 (提供) プリマベアラミュウ / TEL.0942-37-2003 ※M-Lサイズ、どちらかご希望のサイズを明記ください

ちくごのいいものをギュッとコンパクトに詰め込んだ情報紙

SECOND

2023 vol.131 FREE

11

情報紙 セカンド
発行人 / 石橋雅子
〒830-0003 久留米市東櫛原町2066
TEL.090-5749-9964
MAIL info@new-second.com
https://www.new-second.com
http://www.facebook.com/new.second.kurume
second_freepaper



お気に入りのカクテルと BARRテンダー



— 久留米で美味しいカクテルが飲めるお店 —

ラーメン外伝 123 幻の脚本 ⑫ 大砲ラーメン店主 香月 均史

前号の続き、
二台の屋台が軒続きで連結されている。向かって左は「弾丸ラーメン」、右の屋台の暖簾には、いかめしい書体で「金玉やきとり」と書かれている。暖簾をくぐると、満席である。二つの業態が連結した屋台というのが珍しく、評判に合ったようだ。カウンターの山村が言った。「のぼちゃん、ありゃあんまりやろ?」「何や」昇は「ずらりと並べた井に忙しそうにスープを注いでいる。横の屋台の名だ。アレじゃ女の客は来んばい」山村の隣の客がクスクス笑っている。昇は「チリと焼き鳥」を注文した。全員男性客だった。しかも全員が肉店労働者風である。先日の酒をこぼした若男もいる。「人の屋号にガタガタいうなコンギョクやきとり」のどぞ。カッコよからうが「井に入れたら麺を菜箸でほぐしなごら嘉子がうなづきなから言った。「そうやろう山村さん、だんあたらや、せめてフリガナぐら打つてち言いと」となり、昇は立ち上る煙に包まれて、ねじり鉢巻きの端午が忙しく焼き鳥を焼いて、きなこは笑顔で元気に接客している。肉店労働者風の客が言った。「姉ちゃん、酒もう一杯、あとタルムも三本ね」「はい、きなこは升瓶の栓を抜いた。屋台の外では待ち客がはらと並び始めた。
* (光)「焼き鳥でお酒飲んで、締めはラーメンというバラライの橋子コースが軒の屋台でできるの、父ちゃんたちの屋台は評判になりました。でも焼き鳥屋台の名前といや、やっぱり父ちゃんにはフリガナのかからもありませんでした」

翌日の夜、焼き鳥屋台の暖簾には、下手な字で「コンギョクチリガナ」が打たれていた。きょうも端午兄妹は煙に包まれて忙しい。そこに山村が入ってきた。端午は顔を上げて言った。「いっつやい、山村さ...」山村は女連れだった。易者の細川清美である。端午は清美を見て目を見張った。山村は清美を長椅子に促した。端午は横のきなこに耳打ちした。「あの美人、誰やろ?」きなこは首をかしげた。「どうしたタンゴちゃんキョトンとして、あそうそう、この人はその道頓堀(佐賀銀行久留米店の裏に当時存在した小さな飲み屋街の通称)の角の占いさん。ホソカワキヨミさんです」山村は宝物でも

見せつけるかのように言った。端午は手を止めたまま呆然とつぶやいた。「そ、そういうえ、そんな人がおったような...」
* (光)「タンゴ兄妹ちゃんも清美お姉ちゃんに目惚れしてしまいました」
きなこは端午の横顔を見て、それを感じ取ったようだ。手元の焼き鳥が焦げはじめた。「お兄ちゃん!焦げてる!」屋台の屋根から上がる煙がその量を増した。
翌日、端午はねじり鉢巻きの姿で、道頓堀の角にいた。清美に手相をみてもらっているようだ。端午の横にはなぜか光がいる。「そうです、ね、今までのあなたは仕事運が悪かったようですね、でもこれからは、その運はどんどん上向きになります。端午は清美の顔に見とれるだけで、何も聞かずにいる。そして突然切り出した。「ほ、僕の結婚、いやアナタの結婚、いや、アナタは結婚してませんか?」光は「ニヤニヤしている。
* (光)「やっぱり僕はキービッドかもしれない。いたずら好きの」
三人の横を石焼き芋のリヤカーが通って行く。遠くで昇の声が聞こえた。「おい、オヤジ、早く来、早く来、早く来」
数日後、弾丸ラーメンの前、光は毛糸の帽子とマフラー、綿入れ半纏という完全防寒姿でいつものように歩道に絵を描いている。すると千鳥足の男が光のチョークを持った手元を通り過ぎ、金玉やきとりの暖簾に消えて行った。酔った山村のようだった。暖簾をくぐるなり山村は端午に言った。「おい、こらタンゴ!お前、清美ちゃんここにいったら?」端午はあつげにとられながら、焼き鳥の串を返している。「客として手相をみてもらうんです。それが何かイカンですか?」端午はむっとして答えた。「バカタレ!客もクソもあるか、お前はただ清美ちゃんに手を触つてもらっただけやろ、そうやろ、絶対そう、オレはそう思う!」山村はそのままカウンターに突っ伏し、寝言を言っていた。「オレ、レインウオモウ...キヨミちゃん...」端午ときなこは顔を見合わせた。「向こうから昇が声をかけた。」「ヤマがどうかしたか?」「いいや、何でんのかです」端午は黙々と焼き鳥を焼いた。